



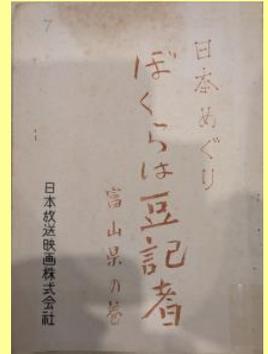
## 16mmフィルム作品「日本めぐり ぼくらは豆記者 富山県の巻」

(1958～59年、日本放送映画株式会社製作)

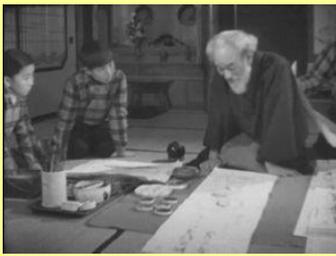
富山県民生涯学習カレッジ映像センター課

日本放送映画は1958年に設立されました。当時は大手テレビ局が開局する前後であり、テレビの普及率がまだ低い時代でした。来るべき需要増加に備えて、大手映画会社やそれまで教育短編映画を製作していた中小プロダクション、そして新興プロダクションも参入して、各社ではテレビ映画作品の準備が進められていた中で、「豆記者シリーズ」の製作がスタートしています。

本作品は、少年少女記者が全国の名所や文化財を取材・紹介する内容です。1958年9月に第1弾の「千葉県の巻」の撮影が行われ、12月には第2弾「富山県の巻」、その後は「石川県の巻」「愛知県の巻」「静岡県の巻」と撮影されました。大手テレビ局が開局する前後の時代に製作された貴重な16mmフィルム作品ですが、富山以外のフィルムはいずれも所在不明となっています。



富山市立図書館所蔵の台本



また、日本放送映画の人脈のルーツの1つは富山県にあります。立山町出身の名士で作家・ジャーナリストである翁久允おきなきゅういん氏の日記(58年)には、長男であり、当時、同社に勤務していた翁宣のり氏が同社の関係者を伴い自宅を訪れたことが書かれています。映画のクレジット画面にも「総務 翁宣」と表示されています。

作中では、子ども記者扮する3人が、高度経済成長期に入って間もない昭和30年代の富山県内各地を巡っています。当時の吉田実知事をはじめ、翁久允氏、製薬や金属加工等の工業製品の製造現場、立山や黒部峡谷等の自然環境、高岡大仏や宇奈月温泉、五箇山の合掌造り集落等の観光地、そして翌年の完成を目指して建設中の有峰ダム等、県内各地を取材してその魅力を伝えています。



この度、幻の16mmフィルム作品「日本めぐり ぼくらは豆記者 富山県の巻」が、製作会社である日本放送映画株式会社様のご厚意によりDVD、BLになりました。貸出等ご利用の相談は、富山県映像センターまでお気軽にお問い合わせください。



← 詳細は日本放送映画公式サイトを参照



【お問い合わせ先】  
富山県映像センター

(富山県民生涯学習カレッジ映像センター課)

〒930-0096

富山市舟橋北町7-1 (県教育文化会館内)

☎076-441-8454

県映像センターHP

